



医療と技術のかけ橋に

株式会社リプト

代表取締役 ことう ひろあき 後藤 広明 さん

ものづくりで医師の悩みを解決できた
ら——そんな想いから独立を決めました。ビジネスの視点から大企業では参入
できないテーマが医療現場には溢れてい
ます。大手の企業に勤める中、感じていた
歯がゆさを解消しようと、細かなニーズ
にこたえられる製品を開発しています。
アイデアの源は医師との対話。例えば、
ワイヤレス内視鏡カメラ「エアスコープ」
の開発は、誤嚥性肺炎に苦しむ患者を救
いたいという医師との出会いがきっかけ
です。食べ物を飲み込む力が弱まること
で起きる誤嚥性肺炎は、内視鏡検査を受
けることで、発症リスクを抑えることが
できます。しかし、患者には病院まで足を
運べない高齢者が多く、予防が進まない
現状がありました。自宅で手軽に内視鏡
検査を受けられる機器を作ること、医
療現場のジレンマにこたえることができ
たと思います。
独立して11年がたち、多くの医師から
相談を寄せられるようになりました。医
療とものづくりをつなぐことで、患者さ
んを救っていききたいですね。



株式会社リプト

2007年創業。「医師たちのあつたらしいなあ…をカタチにする」をミッションに在宅医療機器をはじめ、現場の医師に寄り添った製品を開発している。